

1 議 事 日 程

〔平成28年太宰府市議会 決算特別委員会〕

平成28年9月2日

午前 11 時 20 分

於 全員協議会室

- 日程第1 認定第1号 平成27年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について
- 日程第2 認定第2号 平成27年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第3 認定第3号 平成27年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第4 認定第4号 平成27年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第5 認定第5号 平成27年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第6 認定第6号 平成27年度筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第7 認定第7号 平成27年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第8 認定第8号 平成27年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について
- 日程第9 認定第9号 平成27年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

2 出席委員は次のとおりである（18名）

委員長	門 田 直 樹 議員	副委員長	宮 原 伸 一 議員
委員	堺 剛 議員	委員	船 越 隆 之 議員
〃	木 村 彰 人 議員	〃	森 田 正 嗣 議員
〃	有 吉 重 幸 議員	〃	入 江 寿 議員
〃	笠 利 毅 議員	〃	徳 永 洋 介 議員
〃	上 疆 議員	〃	神 武 綾 議員
〃	小 畠 真由美 議員	〃	陶 山 良 尚 議員
〃	長谷川 公 成 議員	〃	藤 井 雅 之 議員
〃	村 山 弘 行 議員	〃	橋 本 健 議員

3 欠席委員は次のとおりである

な し

4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（19名）

市 長	芦 刈 茂	副 市 長	富 田 讓
教 育 長	木 村 甚 治	総 務 部 長	石 田 宏 二
地域健康部長	友 田 浩	総 務 部 理 事 兼 公 共 施 設 整 備 課 長	原 口 信 行
建設経済部長	井 浦 真須己	市民福祉部長	濱 本 泰 裕

観光推進担当部長 兼観光経済課長	藤 田 彰	教育部長	緒 方 扶 美
上下水道部長	今 村 巧 児	教育部理事	江 口 尋 信
総務課長	田 中 縁	経営企画課長	山 浦 剛 志
地域づくり課長	藤 井 泰 人	介護保険課長	平 田 良 富
国保年金課長	高 原 清	上下水道課長	古 賀 良 平
監査委員事務局長	渡 辺 美知子		

5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（3名）

議会事務局長	阿 部 宏 亮	議事課長	花 田 善 祐
書 記	力 丸 克 弥		

開会 午前11時20分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） ただいまから決算特別委員会を開会いたします。

本日の決算特別委員会は、認定第1号から認定第9号までについて、各所管部長からの説明にとどめたいと思います。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 認定第1号 平成27年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） それでは、日程第1、認定第1号「平成27年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

総務部長。

○総務部長（石田宏二） 認定第1号「平成27年度太宰府市一般会計歳入歳出決算」について、その概要をご説明申し上げます。

資料といたしましては、この事務報告書の決算の概要に沿って説明をさせていただきます。

なお、説明の都合上、決算額は千円単位とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

初めに、1ページの会計別決算状況をごらんください。

平成27年度の一般会計の決算額は、歳入総額255億2,569万1,000円、歳出総額240億1,993万9,000円となっております。

参考に、これを前年度と比較いたしますと、歳入では3億6,144万4,000円、1.4%の減、歳出では11億4,247万3,000円、4.5%の減となりました。

歳入歳出差し引き額は15億575万2,000円の黒字となり、ここから繰越明許費及び事故繰越による翌年度に繰り越すべき財源8億4,956万1,000円を差し引きますと、実質収支額として6億5,619万1,000円の黒字決算となっております。

次に、2ページをごらんください。

こちらに普通会計決算の概略を載せておりますが、これからの説明につきましては、一般会計に住宅新築資金等貸付事業特別会計及び筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計を含めた普通会計の数値になりますので、あらかじめご了承願います。

平成27年度の予算執行に当たりましては、あらゆる補助メニューを積極的に活用しつつ、限られた財源の重点配分と各種施策、事業の効果的、効率的な推進に努めたところでございます。その結果、2ページに掲げます決算の内訳となっております。

それでは、まず歳入からご説明申し上げます。

次に、3ページをごらんください。

歳入全体の決算額は255億4,651万3,000円で、前年度より3億5,720万2,000円、1.4%の減となっております。主な要因は、市税や消費税率の引き上げに伴う地方消費税交付金の増と

もに、臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金などにより、国庫支出金が増額となりましたが、前年度に比べ市債が14億928万5,000円減額したことなどによるものでございます。

次に、市税の内訳をご説明をいたします。

4ページをごらんください。

市税の決算額は80億3,629万7,000円で、前年度と比較しますと7,737万6,000円、1.0%の増収となっております。主な要因としましては、3年ごとの評価見直しにより固定資産税及び都市計画税は減額となりましたが、個人市民税や法人市民税の増収並びに軽自動車の個人消費の伸びにより軽自動車税の増収となったこと、さらには歴史と文化の環境税が観光客の増に伴い増収となったことなどが上げられます。

また、5ページには一般財源の状況を載せております。

一般財源全体といたしましては159億5,281万8,000円で、前年度から8億3,940万8,000円、5.6%の増となっております。内訳としましては、先ほど申し上げました市税や地方消費税交付金の増額と、平成30年度からの医療保険制度の改正に伴う国民健康保険の県との共同運用を見据えて、国保特別会計への基金繰入金の増額など、一般財源全体として増額となっております。

なお、6ページには、歳入を自主財源と依存財源とに分けて掲載をいたしております。

前年度、総合体育館整備事業や総合子育て支援施設の整備事業などによる市債発行額が大きく増加した影響もあり、平成27年度は市債発行額が大きく減少したため、歳入合計に占める自主財源の割合が41.5%から43.5%に増加する結果となっております。

以上で歳入の状況の説明を終わらせていただきます。

次に、7ページをお開きください。歳出の状況をご説明いたします。

歳出全体の決算額は240億3,045万1,000円で、前年度より11億4,553万2,000円、4.6%の減となっております。内訳を目的別に見ますと、総務費では財政調整資金積立金が大きく減ったことなどにより6億4,015万7,000円、18.5%の減、民生費が介護訓練給付費、生活保護費、医療特別会計繰出金の増額などにより4億3,115万8,000円、4.7%の増となっております。また、土木費は道路新設改良工事の進捗状況により補償費が減ったことなどにより1億9,291万2,000円、10.2%の減、教育費は史跡地公有化事業の減などにより4億63万3,000円、8.4%の減額となっております。

次に、8ページでございます。歳出を性質別に分けて分析をいたしております。

義務的経費のうち、扶助費が生活保護費、私立保育園運営負担金、介護訓練給付費などにより4億344万4,000円、7.4%の増額となりました。

また、投資的経費については、学校教育施設等整備事業（空調設備）、水城跡整備事業、史跡地公有化事業などを実施いたしました。総合体育館整備事業や総合子育て支援施設整備事業など大規模事業がある程度完了した結果、16億5,833万4,000円、31.2%の大幅減となっております。

その他の経費では、積立金を取り崩し、国民健康保険事業特別会計への繰出金の増などによりまして2億3,725万4,000円、2.6%の増額となっております。

以上で歳出の説明を終わらせていただきます。

次に、本市の財政状況についてご説明いたします。10ページをお開きください。

10ページに経常収支比率の推移を載せております。経常収支比率は、財政構造の弾力性を示す指標の一つでございますが、平成27年度は87.5%で、前年度から2.4ポイント改善をいたしております。要因といたしましては、経常収支比率算定の分母となります市税や地方消費税交付金などの経常一般財源等収入の増加によるものと、分子となります経常経費充当一般財源のうち、扶助費は増加いたしました。人件費や公債費等が大きく減少したことによるものでございます。

また、11ページに健全化判断比率を載せております。健全化判断比率は、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4つの指標から成ります。

本市の平成27年度健全化判断比率は、一般会計等の実質収支が黒字であるため、実質赤字比率の表示はなく、公営事業会計も含めた実質収支の合計でも黒字であるため、連結実質赤字比率の表示もございません。また一部事務組合までを含めた実質公債費比率は0.4%となり、昨年度より1.3ポイント改善をされました。さらに、地方公社や第三セクターなどまで含めた将来負担比率は、市債残高などの将来負担額から充当可能財源を引きますとマイナスになりますので、負担比率の表示はありません。したがって、11ページの表からもおわかりのとおり、太宰府市の財政状況は全て早期健全化基準及び財政再生基準以下であるため、健全化法に基づく財政健全化計画及び財政再生計画の策定は不要でございます。

次に、12ページ、13ページをお開きください。こちらには市債残高と基金残高の推移をグラフで載せております。

平成27年度末の市債残高は、総合体育館整備事業や学校教育施設等整備事業、史跡地公有化事業など、前年度より11億159万4,000円増加し、238億5,635万円となっております。

市債残高の約238億円を参考までに分析をいたしますと、12ページの中段の円グラフにお示しをいたしておりますように、このうちの約58%、約137億円は後年度に普通交付税として交付される額でございます。また、21%、約50億円が史跡地公有化の償還補給金などとして補助金で賄われます。よって、起債残高のうち実負担額、いわゆる真水部分は21%、約51億円ということになります。

一方、平成27年度末の基金残高につきましては、国保特別会計への補填財源として積み立てておりました財政調整資金を取り崩したことによりまして、前年度より6億6,093万3,000円減の45億7,873万6,000円となりました。

以上、簡単ではございますが、一般会計及び普通会計の歳入歳出決算についての概要を説明をいたしました。詳細につきましては、配付させていただいております決算書並びに事務報告書、監査意見書等を参照していただければと考えております。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第2 認定第2号 平成27年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第2、認定第2号「平成27年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

市民福祉部長。

○市民福祉部長（濱本泰裕） 認定第2号「平成27年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」、その概要をご説明申し上げます。

決算書は277ページからとなっております。

初めに、本市国民健康保険の加入状況についてでございますが、平成27年度末時点におきまして、加入世帯数は1万45世帯、被保険者数は1万6,737人で、人口に対する加入率は23.4%となっております。

それでは、決算の概要につきましてご説明申し上げます。

278ページ、279ページをお願いいたします。

歳入の決算額につきましては、歳入合計88億6,734万929円となっております。前年度に比べ15億4,267万834円、21.1%の増となっております。

282ページ、283ページをお願いいたします。

歳出の決算額につきましては、歳出合計95億6,623万9,524円となっております。前年度に比べ11億8,518万6,953円、14.1%の増となっております。

歳入から歳出を引きました差し引き残額は6億9,889万8,595円の赤字決算となっておりますが、この歳入不足につきましては、翌年度繰上充用金で補填をしております。なお、平成26年度と比較いたしますと、赤字額が3億5,748万3,881円削減されておりますが、これは平成27年度に国保の累積赤字削減のため、一般会計から5億円の補填を行った結果であります。

次に、歳入の主なものにつきましてご説明いたします。

284ページ、285ページをお願いいたします。

1款国民健康保険税でございますが、15億97万6,044円でございます。前年度に比べ3,697万4,904円、2.4%の減となっております。

286ページ、287ページをお願いいたします。

2款国庫支出金でございますが、17億4,437万3,578円でございます。前年度に比べ1億2,931万5,979円、8.0%の増となっております。

次に、3款療養給付費交付金でございますが、2億6,132万6,706円でございます。前年度

に比べ1億2,468万4,332円、32.3%の減となっております。

288ページ、289ページをお願いいたします。

4款前期高齢者交付金につきましては、概算で交付を受け、2年後に精算を行う仕組みとなっております。平成27年度は平成25年度分の精算に伴う返還金5,317万4,760円がありましたことから、19億7,729万2,626円でございます。前年度に比べ1億2,538万5,399円、6.0%の減となっております。

次に、6款共同事業交付金でございますが、18億509万3,670円でございます。前年度に比べ10億2,139万2,415円、130.3%の増となっております。この共同事業交付金は、保険者が負担する医療費に対する再保険的な意味合いのものでございまして、各保険者からの拠出金を財源といたしまして、連合会から各保険者に交付金として交付されるものであります。

290ページ、291ページをお願いいたします。

8款繰入金でございますが、11億494万3,622円でございます。平成27年度は、先ほどご説明申し上げましたとおり、一般会計から赤字補填のために5億円の繰り入れを行いましたことから、前年度に比べ6億649万1,639円、121.7%の増となっております。

次に、歳出の主なものにつきましてご説明いたします。

298ページ、299ページをお願いいたします。

2款保険給付費でございますが、50億6,717万6,730円でございます。前年度に比べ2,021万6,132円、0.4%の増となっており、歳出総額に占めます割合は53.0%となっております。

302ページ、303ページをお願いいたします。

3款後期高齢者支援金等につきましては、後期高齢者の医療給付費の現役世代の負担として拠出するものでございますが、9億4,853万6,884円でございます。前年度に比べ201万5,983円、0.2%の減となっており、歳出総額に占める割合は9.9%となっております。

304ページ、305ページをお願いいたします。

6款介護納付金でございますが、3億4,594万9,069円でございます。前年度に比べ3,036万3,517円、8.1%の減となっております。

306ページ、307ページをお願いいたします。

7款共同事業拠出金でございますが、19億2,529万6,608円でございます。前年度に比べ10億3,331万6,294円、115.9%の増となっております。

312ページ、313ページをお願いいたします。

13款前年度繰上充用金でございますが、10億5,638万2,476円でございます。前年度に比べ1億7,340万3,134円、19.6%の増となっております。これは、平成26年度決算赤字を補填するための充用金でございます。平成26年度までの累積赤字額ということになります。

以上が決算の概要でございますが、国民健康保険は、所得水準が低く医療費水準が高いという構造的な課題によりまして、非常に厳しい財政状況が続いております。この国民健康保険の

安定的な運営のため、平成30年度から都道府県が財政運営の責任主体となり、市町村と共同して国民健康保険事業を運営することとなっております。本市といたしましては、平成30年度の制度改革に向けて遺漏のないよう準備を進めながら、あわせて医療費の適正化事業や市民の健康づくりに資する取り組みなどを行い、国民健康保険の健全な運営に今後とも努めてまいります。

よろしくご審議をいただきまして、認定を賜りますようお願い申し上げます。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第3 認定第3号 平成27年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第3、認定第3号「平成27年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

市民福祉部長。

○市民福祉部長（濱本泰裕） 認定第3号「平成27年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について」、その概要をご説明申し上げます。

決算書は315ページからとなっております。

316ページ、317ページをお願いいたします。

歳入の決算額につきましては、歳入合計11億4,194万9,451円となっております、前年度に比べ3,937万7,224円、3.6%の増となっております。

次に、歳出の決算額につきましては、歳出合計10億8,589万547円となっております、前年度に比べ5,222万2,867円、5.1%の増となっております。歳入から歳出を引きました差し引き残額は5,605万8,904円の黒字決算となっております。

次に、歳入の主なものにつきましてご説明いたします。

318ページ、319ページをお願いいたします。

1款保険料でございますが、8億8,519万2,017円でございます、前年度に比べ812万9,385円、0.9%の増となっております。

次に、3款繰入金でございますが、1億8,763万3,187円でございます、前年度に比べ1,273万6,969円、7.3%の増となっております。

次に、歳出の主なものにつきましてご説明いたします。

322ページ、323ページをお願いいたします。

歳出全体の大部分を占めます1款総務費でございますが、10億8,508万207円でございます、前年度に比べ5,171万2,137円、5.0%の増となっております。また、1款総務費の中でも後期高齢者医療広域連合負担金が10億6,309万1,012円でございます、総務費全体の98.0%を

占めています。この広域連合負担金につきましては、事務費負担金、保険料負担金及び保険基盤安定制度負担金が含まれておりまして、内訳につきましては事務報告書70ページに掲載しております。

以上が決算の概要でございます。

後期高齢者医療制度につきましては、高齢化に伴う被保険者の増加及び医療費の増加等によりまして、財政的にますます厳しくなる見込みであります。本市といたしましても、保険者である福岡県後期高齢者医療広域連合と連携して、今後とも適正な運営に努めてまいります。

よろしくご審議をいただきまして、認定賜りますようお願い申し上げます。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第4 認定第4号 平成27年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第4、認定第4号「平成27年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

市民福祉部長。

○市民福祉部長（濱本泰裕） 認定第4号「平成27年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」、その概要をご説明申し上げます。

決算書は327ページからとなっております。

まず、329ページからの保険事業勘定から説明申し上げます。

330ページ、331ページをお願いいたします。

歳入の決算額につきましては、歳入合計45億9,373万7,686円となっております、前年度と比べ1億9,056万6,328円、4.3%の増となっております。

332ページ、333ページをお願いいたします。

歳出の決算額につきましては、歳出合計45億3,831万8,476円となっております、前年度に比べ1億6,530万9,668円、3.8%の増となっております。歳入から歳出を引きました差し引き残額は、5,541万9,210円の黒字決算となっております。

次に、歳入の主なものにつきましてご説明いたします。

334ページ、335ページをお願いいたします。

1款保険料につきましては、65歳以上の第1号被保険者保険料でございますが、10億8,747万9,852円ございまして、前年度に比べ9,286万890円、9.3%の増となっております。

次に、3款国庫支出金でございますが、9億1,915万6,102円ございまして、前年度に比べ2,814万8,711円、3.2%の増となっております。

336ページ、337ページをお願いいたします。

4 款支払基金交付金につきましては、40歳から64歳までの第 2 号被保険者保険料でございます。各医療保険者が健康保険料と一緒に徴収されます介護保険料を交付金として12億275万156円受け入れており、前年度に比べ169万5,156円、0.1%増となっております。

次に、5 款県支出金でございますが、6 億5,176万3,118円でございます。前年度に比べ3,118万213円、5.0%の増となっております。

338ページ、339ページをお願いいたします。

7 款繰入金につきましては、全て 1 項の一般会計繰入金となっております。6 億9,989万3,846円、前年度に比べ4,385万1,470円、6.7%の増となっております。平成27年度は 2 款の基金からの繰り入れは行っておりません。

次に、歳出の主なものにつきましてご説明いたします。

342ページ、343ページをお願いいたします。

1 款総務費でございますが、1 億7,693万881円でございます。前年度に比べ206万7,889円、1.2%の増となっております。

346ページ、347ページをお願いいたします。

2 款保険給付費でございますが、42億9,282万5,321円でございます。歳出総額の約95%を占めており、前年度に比べ1 億5,494万7,057円、3.7%の増となっております。この中の 1 項介護サービス等諸費につきましては、要介護と認定された被保険者の方のサービス費用の 9 割相当分でございます。37億8,449万8,194円、前年度に比べ1 億4,523万214円、4.0%の増となっております。

350ページ、351ページをお願いいたします。

2 款保険給付費の中の 2 項介護予防サービス等諸費についてでございますが、要支援と認定された被保険者の方のサービス費用の 9 割相当分でございます。2 億6,430万9,733円、前年度に比べ25万980円、0.1%の減のほぼ同額となっております。

354ページ、355ページをお願いいたします。

3 款地域支援事業費でございますが、地域で自立した生活ができるよう支援する事業でございます。5,804万4,685円となっております。

続きまして、365ページからの介護サービス事業勘定につきましてご説明申し上げます。

366ページ、367ページをお願いいたします。

歳入の決算額につきましては、歳入合計4,485万7,095円でございます。歳出の決算額につきましては、歳出合計2,565万3,817円となっております。歳入から歳出を引きました差し引き残額は、1,920万3,278円の黒字決算となっております。

368ページ、369ページをお願いいたします。

歳入の主なものとしたしましては、1 款サービス収入といたしまして、介護予防サービス計画費収入、いわゆるケアプラン作成手数料の3,097万9,461円となっております。

370ページ、371ページをお願いいたします。

歳出につきましては、全額、1款総務費の2,565万3,817円となっております。

以上が決算の概要でございます。

よろしくご審議をいただきまして、認定賜りますようお願い申し上げます。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第5 認定第5号 平成27年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第5、認定第5号「平成27年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

地域健康部長。

○地域健康部長（友田 浩） 認定第5号「平成27年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について」、その概要をご説明申し上げます。

資料につきましては、決算書は373ページから382ページ、事務報告書では73ページとなっております。また、決算審査及び基金運用状況審査意見書は36ページから37ページとなっております。

説明につきましては、決算書でさせていただきます。決算書の374ページ、375ページをよろしくお願いいたします。

平成27年度の歳入歳出決算につきましては、歳入総額が1,190万914円、歳出総額が159万1,153円となっております。歳入歳出差し引き1,030万9,761円の繰り越しとなっております。

対前年度比で見ますと、歳入で729万7,554円、258.5%の増、歳出では3,284円、0.2%の減額となっております。歳入が増額になりましたのは、県の償還推進助成金と繰越金の増によるものでございます。

今後の滞納解消に向けました取り組みといたしましては、経済状況が厳しい中ではございますが、償還計画相談会を行い、計画的、継続的な返済を促し、滞納解消に努めてまいります。また、返済困難者に対しましては、福岡県や委託弁護士と相談し、福岡県の助成金制度を活用し、滞納整理を行ってまいります。

以上、簡単でございますが、説明を終わります。

よろしく認定賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

**日程第6 認定第6号 平成27年度筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計歳入歳出決算認定について**

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第6、認定第6号「平成27年度筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

市民福祉部長。

○市民福祉部長（濱本泰裕） 認定第6号「平成27年度筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計歳入歳出決算認定について」、その概要をご説明申し上げます。

決算書は383ページからとなっております。

この特別会計は、筑紫地区4市1町で共同設置しております筑紫地区障害支援区分等審査会を運営するための特別会計でございまして、平成26年度及び平成27年度の2年間は本市が庶務担当市となっておりますことから、本特別会計決算につきまして上程をさせていただいております。

上程するに当たりましては、この審査会の設置に関する協定書に基づきまして、運営に当たる幹事会におきまして各市町の承認をいただいておりますことをご報告いたします。

それでは、決算の概要につきましてご説明申し上げます。

384ページ、385ページをお願いいたします。

本特別会計の歳入歳出の合計は1,032万6円となっております。前年度に比べ359万4,730円、25.8%の減となっております。

386ページ、387ページをお願いいたします。

まず、歳入の主なものにつきましてご説明いたします。

1款の分担金及び負担金の725万7,674円につきましては、4市1町からの負担金収入でございます。この負担金につきましては、各市町の審査件数をもとにした件数割と一律に負担する均等割で決定をしております。平成27年度の審査件数は、本市が127件、筑紫野市131件、春日市139件、大野城市131件、那珂川町102件の総審査件数630件となっております。

次に、2款の国庫支出金203万5,000円と7款の県支出金101万7,000円につきましては、国、県からの障害支援区分認定等事業費補助金となっております。

388ページ、389ページをお願いいたします。

歳出の主なものにつきましてご説明いたします。

1款1項1目一般管理費の細目001庶務関係費は268万4,078円でございます。前年度に比べ25万7,774円、10.6%の増となっております。

次に、細目002審査会支援システム関係費は345万7,728円でございます。前年度に比べ410万2,704円、54.3%の減となっております。大きく減額となりました理由といたしましては、平成26年度は、法改正に伴うシステム改修業務の委託料といたしまして410万4,000円が計上されておりましたが、昨年度はその分が減となったためでございます。

次に、1款2項1目の細目001審査会関係費は417万8,200円でございます。前年度に比べ25万200円、6.4%の増となっております。

以上が決算の概要でございます。

よろしくご審議をいただきまして、認定賜りますようお願い申し上げます。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第7 認定第7号 平成27年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計歳入歳出決算認定 について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第7、認定第7号「平成27年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

市民福祉部長。

○市民福祉部長（濱本泰裕） 認定第7号「平成27年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計歳入歳出決算認定について」、その概要をご説明申し上げます。

この特別会計は、太宰府市が事務局担当市となっております平成27年、平成28年度の2年間に限り設けている特別会計でございます。

決算書は391ページからとなっております。

392ページ、393ページをお願いいたします。

本特別会計の歳入歳出の合計は、9,575万747円となっております。

394ページ、395ページをお願いいたします。

歳入の主なものにつきましてご説明申し上げます。

1款1項1目の認定審査会共同設置負担金でございますが、4市1町からの認定審査会共同設置負担金でございますが、9,438万8,267円となっております。

396ページ、397ページをお願いいたします。

歳出の主なものにつきましてご説明申し上げます。

1款1項1目一般管理費の細目002認定審査会関係費の中の13節委託料の中で、介護認定支援システム改修委託料といたしまして550万8,000円、また18節備品購入費といたしまして、老朽化による介護認定支援システム機器入れかえのための2,948万4,000円となっております。

次に、1款2項1目の認定審査会費でございますが、認定審査会委員の報酬、費用弁償といたしまして3,819万7,400円となっております。

以上が決算の概要でございます。

よろしくご審議をいただきまして、認定賜りますようお願い申し上げます。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第8 認定第8号 平成27年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

て

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第8、認定第8号「平成27年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

上下水道部長。

○上下水道部長（今村巧児） 水道事業の決算概要についてご説明申し上げます。

水道事業の決算書は水色でございます。

平成27年度につきましては、本年1月に発生をいたしました大寒波によりまして、やむを得ず時間断水を実施するなど例年になく対応を行いましたが、決算は黒字となっております。

まず、4ページをお願いいたします。

建設工事の概況は、掲載のとおりでございます。参考として記載しておりますように、本年度は新設工事が5件、布設がえ工事が8件、加圧ポンプの取りかえ1件が完了いたしております。

次に、5ページをお願いいたします。

(1)業務量の表の2段目、年度末給水人口は5万9,479人で、前年度に比べまして340人増加し、伸び率は0.6%となっております。

普及率につきましては、前年度から0.5%上昇しまして83.1%となっております。今後も引き続き、普及対策の取り組みは重要と考えておるところでございます。

また、年間給水量は4.2%の増、その下の水道料金の対象となります年間有収水量は2.1%の増となっております。

一番下の欄の有収率でございますが、1.9%減少しております。これは、配水管等の工事に伴います料金の対象とならない管の洗管や、本年1月の寒波の影響によります宅地内の漏水につきまして料金の減免を行ったことが、主な要因となっております。

次に、供給単価は212.33円、給水原価は190.31円となっております。平成26年度と比較しますと、本年度平成27年度は若干の減額となったところでございます。

次に、8ページをお願いいたします。

8ページ中段の企業債につきましては、平成27年度末現在で12億8,700万円余りとなっております。平成28年度の借り入れにつきまして、今のところ計画いたしておりませんので、このまま推移しますと、平成40年度には完済となる見込みでございます。

続きまして、14ページをお願いいたします。

平成27年度の損益計算書でございますが、下から3行目に記載しておりますとおり、当年度の純利益は2億495万303円となっております。

次に、16ページをお願いいたします。

平成27年度の剰余金処分計算書案をごらんいただきたいと思います。未処分利益剰余金の当年度末残高は、一番右上の欄で約11億3,900万円余りとなっております。このうち現金を伴わ

ない1億7,800万円余りを資本金に組み入れ、現金化する2,657万円余りを建設改良積立金に積み立て、前年度と同額の9億3,470万円余りを次年度に繰り越しをしております。

なお、17ページ以降に関係諸表を添付しておりますので、これは後ほどご参照いただきたく思います。

説明は以上でございます。

よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第9 認定第9号 平成27年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第9、認定第9号「平成27年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

上下水道部長。

○上下水道部長（今村巧児） 下水道事業の決算概要をご説明申し上げます。

決算書は黄色でございます。

まず、4ページをお願いいたします。

建設工事の概況でございますが、繰り越しをしておりました陣ノ尾雨水幹線、芝原雨水管渠の築造工事のほか、北谷、内山地区の污水管整備などを実施いたしております。

次に、5ページをお願いいたします。

口の業務概況でございますが、普及率は99.2%、水洗化率は97.4%、水洗化人口普及率は96.6%となっております。平成26年度の数値から変化はいたしておりません。

上から3段目の水洗化人口につきましては、前年度から66人増加いたしまして6万9,161人となり、伸び率は0.1%となっております。

整備率につきましては85.6%となり、今後とも計画的な整備に努めていきたいと考えておるところでございます。

有収水量については、全体として1.2%の増となっております。

その下の使用料単価は172.39円、処理原価は117.97円となっており、平成26年度と比較しますと、平成27年度はやや減額という結果となっております。

次に、9ページをお願いいたします。

イの企業債については、前年度から約6億2,500万円減少しまして、年度末現在高は88億1,000万円余りとなっております。企業債の残高につきましては、今後も減少していく見通しで計画をいたしておるところでございます。

次に、16ページをお願いいたします。

平成27年度の損益計算につきましては、下から3行目をごらんください。当年度の純利益の

額は約3億4,900万円余りとなっております、当年度未処分利益剰余金は4億3,100万円余りとなっております。

次に、18ページをお願いいたします。

平成27年度の剰余金処分計算書案でございますけれども、先ほどの当年度未処分利益剰余金が一番右上の欄に表示されております。このうち2億5,800万円余りを資本金に組み入れ、9,100万円余りを減債積立金に積み立て、その残りを次年度に繰り越しとしております。

なお、19ページ以降に関係諸表を添付しておりますので、ご参照いただきたいと思います。説明は以上でございます。

よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 以上で説明は終わりました。

質疑については、9月21日及び9月23日の決算特別委員会で行います。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） 本日はこれをもちまして散会します。

散会 午後0時09分

~~~~~ ○ ~~~~~